

松田町第6次総合計画 令和3年度評価に係る推進方法確認シート

令和3年度評価において、評価が『C』以下（令和3年度取組予定に対し、実際の進捗状況が70%未満）の取組について、その課題・要因、それらに対する対応方法を含めた今後の推進方法について、整理しています。

資料2の 該当箇所	取組名称	評価	課題・原因	対応方法・ 今後の推進方法
資料2-1 4ページ	介護相談員事業	D	コロナ禍により訪問すべき介護保険施設への訪問が感染拡大防止の観点からできない。	今後訪問開始に向け相談員のスキルアップと気持ちの維持を行う。なお、新型コロナが落ち着く（特效薬の完成など）までは施設への訪問は困難である。
資料2-1 7ページ	高齢者虐待防止普及啓発事業	C	虐待案件（有料老人ホーム案件含む）が重なり、対応に追われ実施できなかった。	年内には調整を行い実施していく。
資料2-1 8ページ	地域包括ケアシステム構築	C	自立支援協議会内での調整がついていないため。	保健所が築いてきた地域ネットワークにより医療機関等専門機関をメンバーに「協議の場」設置に向け取り組む検討を行っていきます。
資料2-3 2ページ	体験学習等の実施	C	森林関連の体験学習として実施している「やどりき水源林のつどい」がコロナにより中止となり、そのほかの事業は現時点では予定していません。	コロナ禍でもできる事業の検討を進めます。
資料2-4 4ページ	水道使用料適正化の検討	C	料金改定についての審議をするための審議会が未開催であったため。	委員の選定に難航していたが、目途がたってきたので開催し検討していきます。

資料2の該当箇所	取組名称	評価	課題・原因	対応方法・今後の推進方法
資料2-5 2ページ	松田山ハーブガーデン活用促進	C	指定管理に向けた準備が整わず、募集に至っていません。	条例改正等の制度の整備が整い次第、指定管理者を募集します。
資料2-5 3ページ	消防の連携強化	D	大規模災害やテロ災害等における対処等連携要領を検討する必要があります。	共同運用や各種事態での運用は、各種計画等に反映させるように進めていきます。
資料2-5 3ページ	消防団詰所の建替え	C	消防団の組織再編も考慮に入れた上で適切な建替え時期を設定することが、今後の検討課題です。	消防団の組織再編に係る事項は、再編後の運用を先行的に検討していきます。
資料2-5 3ページ	関係機関との連携強化と新たな防災協定の締結	C	広域避難に係る協定は、現有の協定の見直しが必要となります。	近隣市町との綿密な打ち合わせを行い、避難場所の相互使用等含めた調整を図ります。
資料2-5 4ページ	地域での高齢者や障がい児者の災害時避難等の支援	C	対象となる高齢者・障がい者の要配慮者の方々への具体的な支援策が必要です。	町としての対象者への避難支援に係る基準を策定します。
資料2-5 4ページ	生活用水用井戸の確保	D	飲料水としての利用は備蓄等で十分であると考えられ、災害用井戸をどのように利用するかが課題です。	災害時の井戸水の使用 방법에明確な基準や考え方が必要です。
資料2-6 4ページ	姉妹町交流事業の推進	C	新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、交流方法の見直しが必要です。	少人数での交流やオンライン会議形式での交流に向けて調整します。

松田町第6次総合計画 令和3年度評価に係る推進方法確認シート

令和3年度評価において、評価が『A』（令和3年度取組予定に対し、進捗状況が「事業完了」「目標以上成果があった」）の取組について、その評価とした理由を整理しています。

資料2の 該当箇所	取組名称	理由
資料2-3 1ページ	有害鳥獣駆除活動の実施、支援	コロナ禍で町外（都市部）の実施隊員が例年のように活動できない状況ですが、わなの器材も充実させ、シカの捕獲頭数は例年を上回る実績をあげています。また、イベントの実施が困難な中、感染防止対策のうえで「ハンター塾」を開催し、隊員の確保と人材育成も推進しています。
資料2-3 6ページ	足柄上地区1市5町と連携した 広域的な相談体制の充実	相談体制の整備は確立され、着実に相談をこなしており、相談内容の情報共有も必要に応じて行っているため、目標以上の成果が出ています。
資料2-5 3ページ	18ホール化に向けての調査・研究	令和2年度に18ホール化整備工事が完了しました。
資料2-5 3ページ	町防災行政無線のデジタル化	令和2年度をもって、防災行政無線のデジタル化改修工事は完了しております。
資料2-6 2・3ページ	情報共有の推進	令和3年9月よりLINE公式アカウントの運用を開始することで、町民ニーズに即した情報共有を推進することができたため。また、自治会配達負担軽減と読みやすい広報紙作成のために、A4版の試験導入や意見募集を行い、A4版へ変更を行ったため。
資料2-6 4ページ	国際交流事業の推進	オンラインホームステイやマルタ共和国紹介など、コロナ禍でも実施可能な企画に取り組み、町民の異文化理解に資することができた。

事業総合評価に係る推進方法確認シート

事業総合評価において、評価が『A』（アクションプログラム期間において目指しているもの・予定している取組内容に対し、進捗状況が「事業完了」「目標以上成果があった」）の取組について、その評価とした理由を整理しています。

資料2の 該当箇所	取組名称	理由
資料2-5 3ページ	18ホール化に向けての調査・研究	令和2年度にスポーツ振興くじ助成金を活用した整備工事を実施し、予定通り工事が完了しました。
資料2-6 4ページ	斎場事務の広域化	小田原市に事務委託をしながら、構成市町と継続して連携を図っている。また、令和2年3月には、すべての整備が完了して、供用開始となっているため。

令和4年度事業の方向性に係る推進方法確認シート

「令和4年度事業の方向性」の評価において、評価が『C1』『C2』『D1』『D2』『D3』の取組について、その理由について、整理しています。

資料2の該当箇所	取組名称	評価	評価の理由
資料2-5 2ページ	子どもの館の利用促進	C1	指定管理者制度の導入等の管理方法の見直しを検討している。
資料2-5 2ページ	自然館の利用促進	C1	指定管理者制度の導入等の管理方法の見直しを検討している。
資料2-5 2ページ	松田山ハーブガーデン活用促進	C1	指定管理者制度の導入が必要。
資料2-5 2ページ	ふるさと鉄道活用促進	C1	指定管理者制度の導入等の管理方法の見直しを検討している。
資料2-5 3ページ	パークゴルフ場活用促進	C1	指定管理者制度の導入が必要。
資料2-5 3ページ	18ホール化に向けての調査・研究	D3	令和2年度に予定通り工事が完了。
資料2-5 3ページ	町防災行政無線のデジタル化	C1	改修工事は完了し、今後は運用・保守が主であるため。

【参考】各評価の区分

事業の方向性区分	
A 重点化・拡大して継続	
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない
	2 見直しには法令等の改正が必要
	3 見直しの必要性はあるが次期尚早
C 見直して継続	1 見直し・縮小
	2 他事業との整理・統合
D 休止・廃止・完了	1 休止
	2 廃止
	3 完了